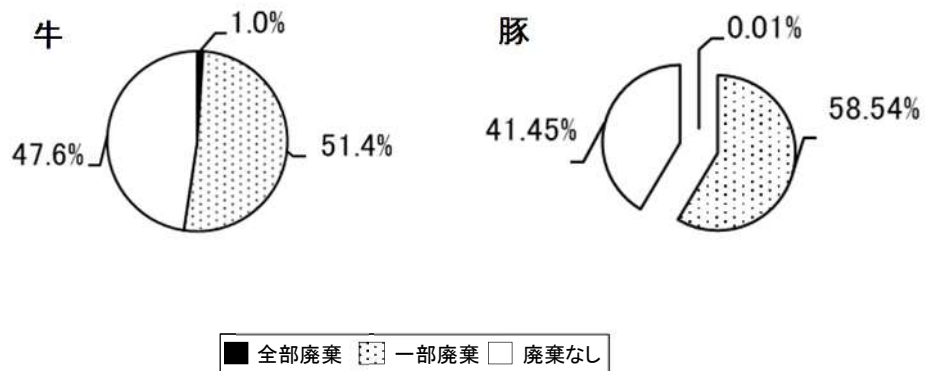


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和6年10月～令和6年12月)

畜種	牛		とく		豚		山羊		
と畜検査頭数	1,252		1		18,848		1		
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	
実頭数	9	608	0	1	2	10,675	0	0	
廃棄の原因	放線菌症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	452	0	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	2	0	0	0
	敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	5	139	0	0	0	68	0	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	384	0	1	0	8,263	0	0
	変性萎縮	0	256	0	0	0	2,972	0	0
	牛伝染性リンパ腫	4	0	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	106	0	1	0	703	0	0	
計	9	885	0	2	2	12,458	0	0	

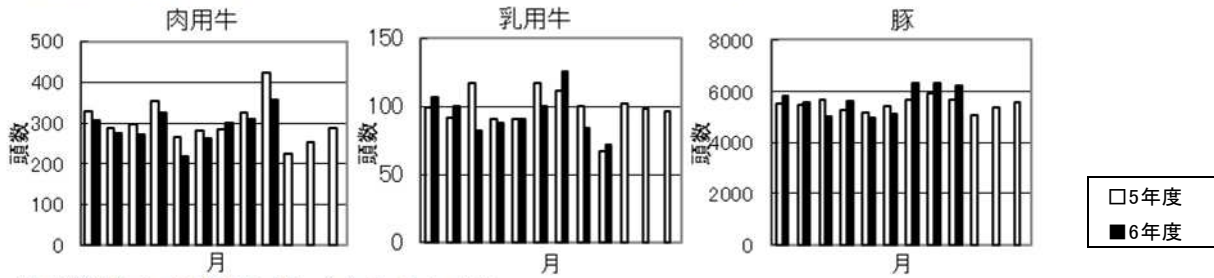
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和6年度）（とくを除く）

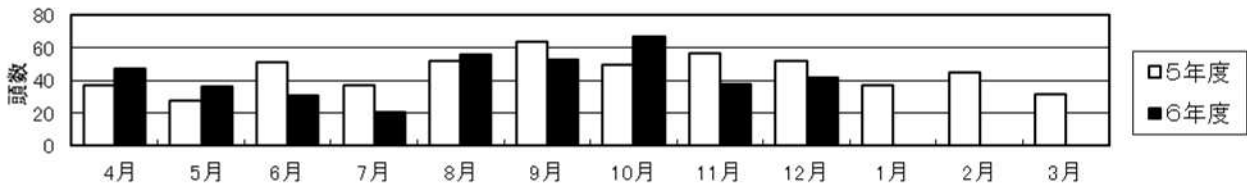
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度肉用牛	330	288	298	354	265	281	286	324	424	225	253	287	3,615
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263	301	311	358				2,633
前年比(%)	93.0	95.8	91.6	91.8	82.6	93.6	105.2	96.0	84.4	0.0	0.0	0.0	72.8
5年度乳用牛	99	92	117	91	91	117	111	100	67	102	98	96	1,181
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100	126	84	72				850
前年比(%)	108.1	108.7	70.1	96.7	100.0	85.5	113.5	84.0	107.5	0.0	0.0	0.0	72.0
5年度豚	5521	5448	5646	5252	5167	5414	5663	5927	5647	5032	5365	5570	65,652
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084	6331	6296	6221				50,817
前年比(%)	104.9	101.9	88.7	106.4	95.7	93.9	111.8	106.2	110.2	0.0	0.0	0.0	77.4

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	37	28	51	37	52	64	50	57	52	37	45	32	650
6年度	47	36	31	21	56	53	67	38	43				392
前年比(%)	127.0	128.6	60.8	56.8	107.7	82.8	134.0	66.7	82.7	0.0	0.0	0.0	60.3



10月～12月の病獣畜148頭の内訳は、牛およびとくが120頭、豚が27頭、山羊が1頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和6年10月～令和6年12月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	148	146	2	100.0
時間外(上記以外)	0	0	0	0.0
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	148	146	2	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和6年10月～令和6年12月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	18	3	1	69	20	1	2	3	0	1	30	148
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭数割合(%)	12.2	2.0	0.7	46.6	13.5	0.7	1.4	2.0	0.0	0.7	20.3	

☆検査室等における精密検査（令和6年10月～令和6年12月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子		
牛及びとく	0	敗血症							0	0
	0	膿毒症							0	0
	2	尿毒症					2		0	2
	1	高度の黄疸					1		0	1
	5	高度の水腫	5						5	0
	4	牛伝染性リンパ腫					4	39	4	0
	0	腫瘍の多発							0	0
	12	計	5	0	0	0	7	0	39	9
豚	0	敗血症							0	0
	2	膿毒症		2					2	0
	0	尿毒症							0	0
	0	高度の黄疸							0	0
	0	高度の水腫							0	0
	0	豚丹毒							0	0
	0	白血病							0	0
	2	計	2	0	0	0	0	0	0	2

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和6年10月～令和6年12月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
	病畜	120	240	120	0	0	0	0	0	0	240
豚	保留	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
	病畜	27	54	26	1	0	1	0	0	0	53
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2

病牛の腎臓1検体において直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	27	54	27	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和6年10月～令和6年12月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所
 TEL:086-272-8399 FAX:086-273-2019
 E-mail:shokunikeiseikensasho@city.okayama.lg.jp
 郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。
 1～3ページについて、ホームページでも公開しています。
<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>